

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営					
I-1. 理念と共有					
1	1	<input type="checkbox"/> ①地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域との交流を大切にし、入居者の方が地域の一員として過ごす事が出来、ホーム内での生活が暖かく家庭的な雰囲気の中で心豊かに過せる事が、スタッフ全員の目標とし、常に心がけて支援している。	○	開所後間もなく、職員の退職や不慣れなスタッフ等で行き届かない部分もあったが、方向性は同じであり、今後も話し合い、理念を共有しサービスの質を向上していきたい
2	2	<input type="checkbox"/> ②理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	一日の始まり(申し送り時)に理念を復唱し、実践に向けて取り組みが出来るように心掛けている。		
3		<input type="checkbox"/> ③家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	誰もが見ていただけるように玄関に掲げている。	○	玄関に掲げているが、地域の人々にまだまだ浸透していないと考える。ホーム便等工夫し地域の人々に理解していただけるように取り組んでいきたい
理念と共有 3項目中 項目					
I-2. 地域との支え合い					
4		<input type="checkbox"/> ①隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	町内会に介入し回覧板による情報や受け渡し時、気軽に会話をさせて頂いている。防災訓練にも参加して頂き、そのまま立ち寄り頂いたり、お付き合いをして頂いている。	○	上記同様ホーム便等を計画し施設内に気軽にお立ち寄り頂けるように努めていきたいと思えます
5	3	<input type="checkbox"/> ②地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	開所後6月で1年目。まだまだ交流の機会が少ないが運動会への誘いがあり参加したり、自治会の掃除等も利用者様と一緒にしたり、見学にいられたり、徐々に交流の機会が増えてきている		
6		<input type="checkbox"/> ③事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の高齢者の方々と話す機会があれば是非お立ちより頂くように声掛けさせて頂いたり運営推進会参加の方にも声掛けさせて頂いている		
地域とのつきあい 3項目中 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I-3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	<input type="checkbox"/> ①評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	日々を振り返り自己評価及び、外部評価を実施することで、適切なサービスの実施、改善が出来るように取り組んでいる。		
8	5	<input type="checkbox"/> ②運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回運営推進会議を開催しサービスの実際や状況を報告しサービスの向上に努めている。		
9	6	<input type="checkbox"/> ③市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	困難時、相談し、サービスの向上に努めている。		
10		<input type="checkbox"/> ④権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	一部研修を受けているが受けていない職員もあり勉強会で話し合う機会や研修の機会があれば参加するように促すようにしている。	○	外部研修の参加や内部研修を強化し必要時活用できるようにしていきたい。
11		<input type="checkbox"/> ⑤虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止関連法について学ぶ機会があれば参加を促し常に虐待を見逃すことのないように意識付けをしている。	○	現在は職員全体が高齢者に優しく虐待は考えられない状態であるが今後も見逃すことのない様、虐待防止関連法について研修や勉強会の参加に取り組んでいきたい
理念を実践するための制度の理解と活用 5項目中 項目					
I-4. 理念を実践するための体制					
12		<input type="checkbox"/> ①契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	見学から契約に至るまでの説明をしているがご家族やご本人にとって十分ではないかもしれないので、疑問点等を尋ねて納得されているかの再確認をしている。		
13		<input type="checkbox"/> ②運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情BOXを設置し投書出来るようにしたり、重要説明書に明記し、外部への苦情窓口の説明をしている		
14	7	<input type="checkbox"/> ③家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月に一度文章で報告しそれ以外でも必要時には電話報告や来所時には直接報告させていただきようにしている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
15	8	<input type="checkbox"/> ④運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情箱を設置し常用運営推進会への参加や1回/月、市役所から相談員さんが来られる日(相談日)があることを文章でお知らせしている。		
16		<input type="checkbox"/> ⑤運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	1回/月カンファレンスを行い、意見を聞いたり、且つ、日々気づきがあれば意見や提案を重視して、反映できるように努めている。		
17		<input type="checkbox"/> ⑥柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	柔軟な対応が出来るように職員間で協力し合い対応出来るように努めている。		
18	9	<input type="checkbox"/> ⑦職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	新しい職員が入った時には一緒に関わりを持ち馴染めるように工夫し不安がないように努めている		
理念を実践するための体制 7項目中 項目					
I-5. 人材の育成と支援					
19	10	<input type="checkbox"/> ①職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	必要時、希望時外部研修に参加できるようにしている。より良いサービスが実施できるように資格修得への意欲向上を図るように促しをしている		
20	11	<input type="checkbox"/> ②同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者との交流の機会に参加し、ネットワーク作りをしている。且つ、情報交換にてサービスの質の向上が出来るように努力している。		
21		<input type="checkbox"/> ③職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	改めて話し合いの機会の取り組みはしていないが、個々に相談があれば傾聴し解決できるように取り組んでいる。		
22		<input type="checkbox"/> ④向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	研修への参加の促し、資格修得の意義を説明し、意欲向上を高めるように助言している		
人材の育成と支援 4項目中 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
II-1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		<input type="checkbox"/> ①初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	まず困っていることを傾聴する。1つ1つを受け入れる姿勢で信頼関係を築けるように努力している。		
24		<input type="checkbox"/> ②初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	見えない不安や分からないことを意識し、よく聞き取り受け止められるように努力している		
25		<input type="checkbox"/> ③初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ケアマネージャーや管理者、職員が同席し必要とされている事を見極め対応するようにしている。		
26	12	<input type="checkbox"/> ④馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	雰囲気慣れて頂くように入所前からホームへ訪問したり、経験して頂くように助言している。		
相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 4項目中 項目					
II-2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	<input type="checkbox"/> ①本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	家族としての生活共同体として接するようにしている。一緒に過しながらご本人から学んだり支えあう関係を築いている。	○	
28		<input type="checkbox"/> ②本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	来所されるご家族との会話はありますが中々訪ねて来られないご家族もあり、喜怒哀楽を共に出来ないのが現状である		
29		<input type="checkbox"/> ③本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	来所時には状況を報告したり、差し支えない程度、会話に参加し気持ちが伝わるように心掛けている		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30		<input type="checkbox"/> ④馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	訪問されるとお茶を出し、ゆっくり過ごされるように配慮している		
31		<input type="checkbox"/> ⑤利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士の関係を観察しながら、テーブルなどの配置を考慮したり家族的な雰囲気作り、消極的な方には声掛けするなど工夫している	○	
32		<input type="checkbox"/> ⑥関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	開設後間がないこともあり契約終了された方はないが今後終了されることがあれば終了後も関係は大切にしていこうとする	○	
新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 6項目中 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
Ⅲ-1. 一人ひとりの把握					
33	14	<input type="checkbox"/> ①思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で、一人ひとりの思いや意向を把握出来るように努めケアに活かせるようにしているが、意思表示を出来ない方にはこちらから、ご本人の思いをくみ取れる様に努めている	○	
34		<input type="checkbox"/> ②これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	情報収集しているものの、関わりの中で今までの生活の在り方や環境を改めて知ることあり時間をかけてゆっくり関わりを持てるようにしている。		
35		<input type="checkbox"/> ③暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一日の関わりの中で心身の状態を把握しながら有する力を見つけ出し、一緒に行動する事で総合的な把握に努めている		
一人ひとりの把握 3項目中 項目					
Ⅲ-2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	<input type="checkbox"/> ①チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人を含め、家族、主治医の意見や、ケアマネージャー、スタッフと共に、課題を上げ、ケアのあり方について話し合い、要望を取り入れてケアプラン作成に努めている。	○	今後、運営推進会時などの機会に、民生員さん、地域包括支援センターの方々にも相談し、より良く過ごして頂けるように取り組んでいきたい。
37	16	<input type="checkbox"/> ②現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	期間に応じて計画を見直すようにしているが以前に変化が生じた場合には家人やスタッフとの話し合いの機会を持ち見直しをする事としている。		気づきがあれば意見交換し、より良く過ごしていただけるようにしていきたい。
38		<input type="checkbox"/> ③個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個々に記録し情報を共有し実践、見直しに活かせるように努力している。		
介護計画の作成と見直し 3項目中 項目					
Ⅲ-3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	<input type="checkbox"/> ①事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	同法人のイベントに参加したり、医療連携を活かした適切な医療処置、身体の現状維持を図る為定期的にリハビリが継続出来るよう柔軟な支援に努めている。		
多機能性を活かした柔軟な支援 1項目中 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		Ⅲ-4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40		<input type="checkbox"/> ①地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	町内会の回覧による情報や町内会の行事の参加、防火訓練など協力を得ながら支援している。		地域資源の拡大に努め必要に応じた支援が出来るように取り組んでいきたい。
41		<input type="checkbox"/> ②他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	他の事業所や地域の他のケアマネジャーにも話し合い必要時には協力を得られるようにしている。		
42		<input type="checkbox"/> ③地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	管理者の交代や地域包括支援センターの担当の交代があったりしたが今後も1回/2ヶ月、運営推進会に参加して頂き、相談しながら必要に応じた支援に努めていく		権利擁護や総合的なマネジメントについての知識、及び地域包括支援センターと相談して協働していきたい。
43	18	<input type="checkbox"/> ④かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご家族やご本人の希望を確認し定期的な受診が出来るように取り組んでいる		
44		<input type="checkbox"/> ⑤認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	連携を図り受診、治療、相談が受けられるように支援している		
45		<input type="checkbox"/> ⑥看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	日々健康管理を行い、日頃の様子と異なる場合には早期に相談している。		今後も連携にて異常の早期発見に努めていきたい。
46		<input type="checkbox"/> ⑦早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	現在、入院はないが病院関係者との情報交換や相談が出来るように連携体制は出来ている。		
47	19	<input type="checkbox"/> ⑧重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	定期的な受診、身体状況を把握。医師との連携を密にし身体状況の変化に備えての検討や準備の必要性を話し合っている		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48		<input type="checkbox"/> ⑨重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	事業所で出来ること、出来ないことの話し合いをし、状態変化時には早い段階からご家族や医師と相談し方針を検討するようにしている。		
49		<input type="checkbox"/> ⑩住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	開所後間がないので住み替えはまだないが、移り住む際には十分な話し合いや情報交換を行いダメージを防ぐように努めていく		
地域資源との協働 10項目中 項目					


自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
IV-1. その人らしい暮らしの支援					
IV-1. (1) 一人ひとりの尊重					
50	20	<input type="checkbox"/> ①プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしている	プライバシーには配慮し一人一人個性があるので、本人の用いる言葉で理解して頂けるように関わっている。記録の中ではイニシャルにて個人情報の取り扱いに注意している		
51		<input type="checkbox"/> ②利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	個性を理解した上で声掛けを行い、コミュニケーションを図りながら無理のない生活が送れるように心がけている		
52	21	<input type="checkbox"/> ③日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	見守りしながら、一人一人のペースを大切にしているが意思表示できない方には様子見ながらこちらから促しをしている	○	ゆっくり関わりを持つことで、一人一人がどのように過ごしたいかを把握し、その人らしい生活が出来るように取り組んでいきたい。
その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重 3項目中 項目					
IV-1. (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		<input type="checkbox"/> ①身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	季節にあった衣類の選択や身だしなみにさりげなく関わり、理美容は希望時に来所して頂いている。		
54	22	<input type="checkbox"/> ②食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備をしたり、茶碗拭きをしたり、一緒にする事で楽しいひとときを過ごす事が出来ている。		
55		<input type="checkbox"/> ③本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	糖尿病のある方の工夫をしながら、みんな楽しんで頂けるようにしている。		
56		<input type="checkbox"/> ④気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	自力でトイレに行かれる方には、排泄後、確認を行い、介助の必要な方はその都度、確認にて排泄パターンを把握している		
57	23	<input type="checkbox"/> ⑤入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴を好む方と嫌がる方があり、希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるようにしている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
58		<input type="checkbox"/> ⑥安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	就寝や起床時間の規制はなくご利用者の思う時間に寝たり起きたりされている。		
その人らしい暮らしの支援 (2)基本的な生活の支援 6項目中 項目					
IV-1. (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	<input type="checkbox"/> ①役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	塗り絵や頭の体操など自由にして気晴らししたり、買い物や外出したり、楽しみや気晴らしが出来るように工夫している		
60		<input type="checkbox"/> ②お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人の欲しい物はご家族の了解の範囲内で買い物をしている。		
61	25	<input type="checkbox"/> ③日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や買い物等一緒に行ったりしている。		
62		<input type="checkbox"/> ④普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	希望時には、喫茶店に行ったり、会いたい人の所へ同行している。行事等の花見や神社へのお参り、外食は全員参加出来ている。		
63		<input type="checkbox"/> ⑤電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人の希望時には電話をかけて頂いている		
64		<input type="checkbox"/> ⑥家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時間の規制がなくいつでも訪問できるように声掛けしている。訪問時にはお茶を出し、ゆっくりして頂けるように配慮している		
その人らしい暮らしの支援 (3)社会的な生活の支援 6項目中 項目					
IV-1. (4) 安心と安全を支える支援					
65		<input type="checkbox"/> ①身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	開所依頼、一度も身体拘束していない。契約時にも説明し安心して頂けるようにしている。	○	禁止の対象が正しく理解出来ているか再確認し、今後も拘束のないケアの継続に努めていく。

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	26	<input type="checkbox"/> ②鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中、玄関の鍵をかけずに、離設事故のないよう注意している。出入り口にはセンサーを設置している。居室はご本人の意志に任せている。		
67		<input type="checkbox"/> ③利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	常に入居者の所在の確認をし、昼夜とうして危険防止に努めている。		
68		<input type="checkbox"/> ④注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	個々の状態に応じて管理している。		
69		<input type="checkbox"/> ⑤事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	火災については消防署や近隣の方の協力を得て避難訓練や消火器の使い方の訓練をしている。転倒、行方不明には日々細心の注意を払うように努めている。		
70		<input type="checkbox"/> ⑥急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	目につく場所(電話の前など)に緊急時の連絡先、手順を貼っている	○	応急手当や初期対応の訓練の勉強会を検討し、正しい対応が出来るように取り組んでいきたい。
71	27	<input type="checkbox"/> ⑦災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	2回/年消防署や近所の方の協力を得て避難訓練実施(昼、夜の想定)避難誘導、通報訓練、消火訓練している。		
72		<input type="checkbox"/> ⑧リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	○		
その人らしい暮らしの支援 (4)安心と安全を支える支援 8項目中 項目					
IV-1. (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		<input type="checkbox"/> ①体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日バイタルチェック、状態の観察し、体調変化時は速やかに受診したり、主治医や看護師に相談している。	○	常に身体状況を把握し、異常の早期発見に努めていきたい。

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
74		<input type="checkbox"/> ②服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師の指示に従い、説明書にて理解し正しい服薬の支援に努めている。且つ、症状の変化時には、報告するようにしている。		
75		<input type="checkbox"/> ③便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	薬のみに頼らず、身体を動かしたり、飲食物の工夫をしている。		
76		<input type="checkbox"/> ④口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	食後の含嗽を促し、就寝時には義歯のつけ置き洗浄して口腔内清潔の保持に努めている。		
77	28	<input type="checkbox"/> ⑤栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養のバランスが取れるように栄養士のメニューで食事の提供をし、個々の摂取量の把握が出来るよう記録している。且つお茶の時間以外にも水分補給に心がけている。		
78		<input type="checkbox"/> ⑥感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	回覧や協力病院の指導により感染症の予防に努めている(予防注射など)且つ、手洗い、床、トイレ、台所、手指の消毒を徹底するように努めている。	○	感染症予防の為、勉強会の取り組みをしていきたい。
79		<input type="checkbox"/> ⑦食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	台所、調理器具の消毒、手洗い励行。食材は必要分を配達、購入して新鮮な物を提供出来る様に努めている。		
その人らしい暮らしの支援 (5)健康面の支援 7項目中 項目					
IV-2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
IV-2. (1) 居心地のよい環境づくり					
80		<input type="checkbox"/> ①安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	鍵をかけずに気軽に出入りが出来るようにし、花を置いたり工夫している。		
81	29	<input type="checkbox"/> ②居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	室温に注意し、快適な空間、手作りの額や花を置き、生活感を取り入れている。プランタンの水やりなどで季節感も味わえるように工夫している。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
82		<input type="checkbox"/> ③共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングで他者と過ごしたり、居室でゆっくり過ごしたり、自由に過ごされている。		
83	30	<input type="checkbox"/> ④居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室のレイアウトや置物はご家族やご本人の使い慣れた物や好みの物を置いて頂き、居心地よく過ごして頂くようにしている。つまづきなどの危険性のある物はアドバイスをさせて頂いている。		
84		<input type="checkbox"/> ⑤換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	日中、居室を利用されていない時に窓を開けて換気したり、空調にて温度調整したりしている。尚、臭いが気になる場合には原因の追究、改善に努めている。		
生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり 5項目中 項目					
IV-2. (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		<input type="checkbox"/> ①身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	階段や廊下に手すりを設置。見守り、声かけしながら、出来るだけ自力で移動し、身体機能が活かせるように努めている。		
86		<input type="checkbox"/> ②わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	無理時しないで出来る事をして頂いている。		
87		<input type="checkbox"/> ③建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ベランダにプランタンを置き、季節の花を楽しめるように工夫している。屋外にも、少しではあるがネギや花(畑)を植えて、楽しみを作っている。	○	広いベランダがあり、それを活かして、もっと、利用者様が楽しめるように取り組んでいきたい。
生活環境づくり (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり 3項目中 項目					

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
		↓○印欄
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
	項 目	取 り 組 み の 成 果 14 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)

		↓○印欄
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

評価結果整理表

個別表		□のチェック項目数
I 理念に基づく運営		
－1.	<input checked="" type="checkbox"/> 理念と共有	0 項目/3項目
－2.	<input checked="" type="checkbox"/> 地域との支え合い	0 項目/3項目
－3.	<input checked="" type="checkbox"/> 理念を実践するための制度の理解と活用	0 項目/5項目
－4.	<input checked="" type="checkbox"/> 理念を実践するための体制	0 項目/7項目
－5.	<input checked="" type="checkbox"/> 人材の育成と支援	0 項目/4項目
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援		
－1.	<input checked="" type="checkbox"/> 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	0 項目/4項目
－2.	<input checked="" type="checkbox"/> 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	0 項目/6項目
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント		
－1.	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの把握	0 項目/3項目
－2.	<input checked="" type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	0 項目/3項目
－3.	<input checked="" type="checkbox"/> 多機能性を活かした柔軟な支援	0 項目/1項目
－4.	<input checked="" type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	0 項目/10項目
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援		
IV－1. その人らしい暮らしの支援		
－1. (1)	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの尊重	0 項目/3項目
－1. (2)	<input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援	0 項目/6項目
－1. (3)	<input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援	0 項目/6項目
－1. (4)	<input checked="" type="checkbox"/> 安心と安全を支える支援	0 項目/8項目
－1. (5)	<input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援	0 項目/7項目
IV－2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり		
－2. (1)	<input checked="" type="checkbox"/> 居心地のよい環境づくり	0 項目/5項目
－2. (2)	<input checked="" type="checkbox"/> 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり	0 項目/3項目

総合評価

I 理念に基づく運営 (項目/5項目)について

理念は、訪問者(近隣者、家族の方々)にも浸透できるように、玄関の目につく場所に提示している。毎朝、申し送り時にスタッフ一同で、日々、理念に沿ったケアが出来ているかの確認をし、入居者の方が、地域に馴染み、その人の持つ力を見出し、その人らしい生活が送れるように、日々、念頭にし取り組んでいる。

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 (項目/2項目)について

心地よく、安心出来るような話相手となり、家庭的な雰囲気作りに努めている。定期的に受診介助、家人への報告も行うように心がけ、安心感と信頼関係作りに努めている。

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント (項目/4項目)について

日々の関わりの中から環境や生活のあり方を理解し、その人らしく過ごせるようにカンファレンスなど通じて状況に応じたケアプランの作成に努めている。

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 (項目/7項目)について

現状を維持する為に、定期的にリハビリや受診をし、医師や家人と相談したり、事故防止の為に、階段や歩行時には見守り、声かけをし転倒防止に努めています。且つ、月に1回、モニタリングを行い、その人らしい暮らしが継続出来るように取り組んでいます。

V サービスの成果に関する項目について

○の為に、夫婦の仲が・・・家に居る時は・・・と現在のご本人をみて、喜ばれる家族の姿がある。入居者の方々日々、穏やかに過ごされ、安心して頂いていると感じます。時々不穏になったり、気分のムラもみられるが、スタッフの統一した対応で安心感が持てるのだと思います。今後も家庭的な安心出来る生活、一緒に笑える生活を送れるように、ゆっくりと関わりを持っていきたいと思ひます。

☆サービスの質の向上に向けて、取り組む課題と優先順位、具体的な行動の計画

事業者名称 グループホーム せいか

評価 平成 21 年 4 月 29 日

前回評価年月日: 年 月 日

サービスの質の向上に向け取り組む課題			取り組み期間 (○年○月～ ○年○月まで)	改善に向けた具体的 な行動	達成度評価	次期 評価 実施 時期
評価項目 番号	優先 順位	内 容				
1	1	独自の理念を全体で共有しサービスの質の向上に努めていく	H21年4月～ H21年7月	毎朝申し送り時に復唱し理解出来る様にしている。地域の一員として、暮らしていけるように行事には積極的に参加している。	毎朝、復唱する事で理念を念頭に介護サービスの質の向上に結びつけている。	H21年8月
2	2	開所後間がなく、当グループホームせいかが浸透していない。今後、浸透していくように取り組んでいきたい。	H21年5月～ H21年8月	ホーム便りの作成を検討し、グループホープのあり方を理解して頂き、協力、且つ、入居者の皆様が地域の一員として過ごせる様に努めていく。		H21年9月
4	3	日々行うサービスの自己評価及び、外部評価を実施する事で適切なサービスの実施ができているか、且つ、出来ていない部分の改善が出来る様に取り組みたい。	H21年2月～ H21年5月	自己評価、及び外部評価の実施を受ける	自己評価を実施する事で、反省や学ぶ事が多いことに気づいている。	H21年6月
13	4	家族としての生活共同体として接し、一緒に過ごしながら、学んだり、支え合う関係作りを取り組みたい。	H21年5月～ H21年8月	ゆっくり関わり、個々の生活癖や性格を理解する。且つ、関わりの中から個々の得意とする事を見出して学んだり支えあったりしていく		H21年8月